

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

4-3-3

事務事業名	簡易水道(上美生・美生・河北)施設維持管理事業	所属部門	水道課	水道工務係
町長公約				
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

<p>〔事業の概要・現状・課題〕</p> <p>【概要】 芽室町の水道事業は、住民生活に必要不可欠なライフラインとして、また、産業活動の基盤として、まちの発展に併せ施設整備を進め農村部3地区の上美生簡易水道・美生簡易水道・河北簡易水道は、それぞれ深井戸による自己水源からの供給により安全で安心な水道水の安定供給に努めている。なお、これまでは上美生地区の自己水源施設や一部の管路更新、美生地区の自己水源施設電気設備更新、道営事業との合併施工により河北地区の自己水源施設更新・管路更新を進め、町の負担軽減を図りつつ、老朽化対策を実施してきている。</p> <p>【現状・課題】 上美生簡易水道、美生簡易水道、河北簡易水道の各簡易水道が供用開始から約40年を経過しており、老朽化が課題となっている。</p>
--

<p>〔2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法〕</p> <p>長期にわたって施設機能を維持・保全できるよう点検や整備を行い、既存施設を運用しながら修繕や補強を行うことが必要となる。 今後も継続的に維持管理機能保全が図れるよう、既存施設の台帳整備や管路台帳のDX化を実施していく。</p>
--

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						/
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	50,730	65,170	41,724	283,000	283,000	
	一般財源	円	37,325,443	32,431,169	33,639,198	35,932,000	35,932,000	
	事業費計	円	37,376,173	32,496,339	33,680,922	36,215,000	36,215,000	

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

4-3-3

事務事業名	簡易水道給水設備事業	所属部門	水道課	水道工務係
町長公約				
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

<p>〔事業の概要・現状・課題〕</p> <p>【概要】 芽室町の水道事業は、住民生活に必要不可欠なライフラインとして、また、産業活動の基盤として、まちの発展に併せ施設整備を進め農村部3地区の上美生簡易水道・美生簡易水道・河北簡易水道は、それぞれ深井戸による自己水源からの供給により安全で安心な水道水の安定供給に努めている。なお、これまでは上美生地区の自己水源施設や一部の管路更新、美生地区の自己水源施設電気設備更新、道営事業との合併施工により河北地区の自己水源施設更新・管路更新を進め、町の負担軽減を図りつつ、老朽化対策を実施してきている。</p> <p>【現状・課題】 簡易水道区域の水道使用量を検針するため、計量法対象量水器を町で購入し、貸付をおこなっている。また、計量法で計量器製造後8年を経過した量水器は更新するよう定められている。</p>

<p>〔2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法〕</p> <p>設置または更新後8年を迎える年に量水器の更新を行う。 検針困難地区においてスマートメーターの導入を試験的に実施しており、検針業務の負担軽減を図っている。</p>
--

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円					
	その他(使用料等)	円	1,118,013	603,251	594,460	4,345,000	4,345,000
	一般財源	円	1,852,565	1,659,449	4,240,920	1,048,000	1,048,000
	事業費計	円	2,970,578	2,262,700	4,835,380	5,393,000	5,393,000

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

4-3-3

事務事業名	簡易水道施設整備事業	所属部門	水道課	水道工務係
町長公約				
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

<p>〔事業の概要・現状・課題〕</p> <p>【概要】 芽室町の水道事業は、住民生活に必要なライフラインとして、また、産業活動の基盤として、まちの発展に併せ施設整備を進め農村部3地区の上美生簡易水道・美生簡易水道・河北簡易水道は、それぞれ深井戸による自己水源からの供給により安全で安心な水道水の安定供給に努めている。なお、これまでは上美生地区の自己水源施設や一部の管路更新、美生地区の自己水源施設電気設備更新、道営事業との合併施工により河北地区の自己水源施設更新・管路更新を進め、町の負担軽減を図りつつ、老朽化対策を実施してきている。</p> <p>【現状・課題】 法定耐用年数を経過した各施設機械・電気設備の計画的な更新が課題となっている。</p>
--

[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]

今年度改定の水道事業施設整備基本計画において各施設機械・電気設備の優先度の絞込みや更新計画を策定し、耐震化と老朽化対策の効果的な促進に繋げていく。

内訳	単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円	367,100,000	231,600,000	160,200,000	28,800,000	28,800,000
	その他(使用料等)	円					
	一般財源	円	15,197,100	20,618,759	-148,683,000	25,000	25,000
	事業費計	円	382,297,100	252,218,759	11,517,000	28,825,000	28,825,000

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

4-3-3

事務事業名	簡易水道配水本管等整備事業	所属部門	水道課	水道工務係
町長公約				
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

<p>【事業の概要・現状・課題】</p> <p>【概要】 芽室町の水道事業は、住民生活に必要不可欠なライフラインとして、また、産業活動の基盤として、まちの発展に併せ施設整備を進め農村部3地区の上美生簡易水道・美生簡易水道・河北簡易水道は、それぞれ深井戸による自己水源からの供給により安全で安心な水道水の安定供給に努めている。なお、これまでは上美生地区の自己水源施設や一部の管路更新、美生地区の自己水源施設電気設備更新、道営事業との合併施工により河北地区の自己水源施設更新・管路更新を進め、町の負担軽減を図りつつ、老朽化対策を実施してきている。</p> <p>【現状・課題】 ①上水道耐震化計画で整理した簡易水道に関する急所施設の管路延長と重要な管路の延長が35.6km存在し、内未耐震管が9.5km存在することから、計画的な耐震化及び老朽化対策と財源の確保が課題となっている。特に美生簡易水道は、施設の老朽化及び耐震化を促進する必要があることから、上水道への統合を早期に実現していく必要がある。</p>

<p>【2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法】</p> <p>①-1長期に亘って管路施設を利用できるよう老朽度合いや緊急性など優先度を見極めて耐用年数を超過している配水管の布設換えを計画的に実施していく。 令和7年度は上美生地区の配水本管の布設換えを実施。 令和8年度は河北地区の添架管撤去工事を実施予定。</p> <p>①-2能登半島地震で上下水道施設の甚大な被害が発生し、浄水場等の急所施設や避難所等を繋ぐ重要施設の管路耐震化対策として、R6年度から個別補助となった上水道基幹施設耐震化事業補助金の活用や防災・安全交付金の活用を検討し、長期的な財源を確保していく。</p> <p>①-3上下水道一体化耐震計画は長期的な計画となることから、今年度改定の水道事業施設整備基本計画において各管路の優先度の絞り込みや更新計画を策定し、耐震化と老朽化対策の効果的な促進に繋げていく。</p> <p>①-4美生簡易水道の上水統合については、令和6年度実施した「美生地区再編検討調査委託」に基づき道営事業による早期着工を目指し、北海道へ要望していく。</p>
--

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円	44,200,000	8,100,000	74,200,000	50,600,000	50,600,000	
	その他(使用料等)	円	558,030	716,870	458,966	3,099,000	3,099,000	
	一般財源	円	19,457,770	7,997,730	12,814,134	-2,379,000	-2,379,000	
	事業費計	円	64,215,800	16,814,600	87,473,100	51,320,000	51,320,000	

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

4-3-3

事務事業名	上水道(第6期)拡張事業	所属 部門	水道課	水道工務係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

<p>〔事業の概要・現状・課題〕</p> <p>【概要】 芽室町の水道事業は、住民生活に必要なライフラインとして、また、産業活動の基盤として、まちの発展に併せ施設整備を進め、市街地を含む上水道区域は、深井戸による自己水源と十勝中部広域水道企業団からの受水により安全で安心な水道水の安定供給に努めている。なお、これまでは平成28年に「芽室町上水道事業施設整備基本計画」を定め、上水道区域の自己水源更新や重要施設の耐震化、法定耐用年数を経過した管路の更新を計画的に進めるとともに、適切な維持管理により施設の機能保全を図っている。</p> <p>【現状・課題】 法定耐用年数を経過した各施設機械・電気設備の計画的な更新が課題となっている。</p>
--

<p>[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]</p> <p>今年度改定の水道事業施設整備基本計画において各施設機械・電気設備の優先度の絞込みや更新計画を策定し、耐震化と老朽化対策の効果的な促進に繋げていく。</p>
--

内訳	単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円	34,000,000	60,200,000	64,100,000	81,700,000	81,700,000
	その他(使用料等)	円					
	一般財源	円	91,010	248,510	877,620	975,000	975,000
	事業費計	円	34,091,010	60,448,510	64,977,620	82,675,000	82,675,000

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

4-3-3

事務事業名	上水道給水設備事業	所属部門	水道課	水道工務係
町長公約				
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

<p>【事業の概要・現状・課題】</p> <p>【概要】 芽室町の水道事業は、住民生活に必要なライフラインとして、また、産業活動の基盤として、まちの発展に併せ施設整備を進め、市街地を含む上水道区域は、深井戸による自己水源と十勝中部広域水道企業団からの受水により安全で安心な水道水の安定供給に努めている。なお、これまでは平成28年に「芽室町上水道事業施設整備基本計画」を定め、上水道区域の自己水源更新や重要施設の耐震化、法定耐用年数を経過した管路の更新を計画的に進めるとともに、適切な維持管理により施設の機能保全を図っている。</p> <p>【現状・課題】 上水道区域の水道使用量を検針するため、計量法対象量水器を町で購入し、貸付をおこなっている。また、計量法で計量器製造後8年を経過した量水器は更新するよう定められている。</p>

<p>[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]</p> <p>設置または更新後8年を迎える年に量水器の更新を行う。 検針困難地区においてスマートメーターの導入を試験的に実施しており、検針業務の負担軽減を図っている。</p>

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円					
	その他(使用料等)	円	8,134,390	7,614,966	8,100,664	4,344,000	4,344,000
	一般財源	円	25,513,730	37,589,534	34,123,716	52,594,000	52,594,000
	事業費計	円	33,648,120	45,204,500	42,224,380	56,938,000	56,938,000

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-3-3

事務事業名	浄水場・配水池維持管理事業	所属部門	水道課	水道工務係
町長公約				
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

<p>【事業の概要・現状・課題】</p> <p>【概要】 芽室町の水道事業は、住民生活に必要不可欠なライフラインとして、また、産業活動の基盤として、まちの発展に併せ施設整備を進め、市街地を含む上水道区域は、深井戸による自己水源と十勝中部広域水道企業団からの受水により安全で安心な水道水の安定供給に努めている。なお、これまでは平成28年に「芽室町上水道事業施設整備基本計画」を定め、上水道区域の自己水源更新や重要施設の耐震化、法定耐用年数を経過した管路の更新を計画的に進めるとともに、適切な維持管理により施設の機能保全を図っている。</p> <p>【現状・課題】 芽室浄水場は建築後40年以上経過しており、電気及び機械設備の老朽化が課題となっている。</p>
--

<p>【2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法】</p> <p>長期にわたって施設機能を維持・保全できるよう点検や整備を行い、既存施設を運用しながら修繕や補強を行うことが必要となる。 日常の点検等において計画的な維持管理を行うとともに、緊急時には迅速な過年度の整備状況の把握が必要であることから、工事整備記録を電子化することで、いつ誰でも緊急時等において施設状況の確認ができるよう台帳整備を実施していく。</p>
--

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円					
	その他(使用料等)	円	152,500	185,500	196,500	224,000	224,000
	一般財源	円	39,823,797	43,550,996	46,762,259	43,617,000	43,617,000
	事業費計	円	39,976,297	43,736,496	46,958,759	43,841,000	43,841,000

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-3-3

事務事業名	配水管及び給水管維持管理事業	所属 部門	水道課	水道工務係
町長公約				
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

<p>【事業の概要・現状・課題】</p> <p>【概要】 芽室町の水道事業は、住民生活に必要不可欠なライフラインとして、また、産業活動の基盤として、まちの発展に併せ施設整備を進め、市街地を含む上水道区域は、深井戸による自己水源と十勝中部広域水道企業団からの受水により安全で安心な水道水の安定供給に努めている。なお、これまでは平成28年に「芽室町上水道事業施設整備基本計画」を定め、上水道区域の自己水源更新や重要施設の耐震化、法定耐用年数を経過した管路の更新を計画的に進めるとともに、適切な維持管理により施設の機能保全を図っている。</p> <p>【現状・課題】 上水道区域内の水道管は約355km埋設されている。配水管及び給水管については老朽化が顕著であり、漏水等の事故が発生した場合の迅速な復旧対応が求められている。</p>

<p>【2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法】</p> <p>長期にわたって施設機能を維持・保全できるよう点検や整備を行い、既存施設を運用しながら修繕や補強を行うことが必要となる。 日常の点検等において計画的な維持管理を行うとともに、緊急時には迅速な水道管理状況の把握が必要であることから、工事整備記録を電子化(GISシステムへの反映)することで、いつ誰でも緊急時等において水道管理状況の確認ができるよう台帳整備を継続的に実施する。また、埋設確認の際には速やかに図面の発行ができるため、町民サービスの向上にもつながる。</p>
--

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円					
	その他(使用料等)	円	5,182,496	4,682,527	4,750,805	5,678,000	5,678,000
	一般財源	円	13,855,104	29,146,223	32,856,192	34,007,000	34,007,000
	事業費計	円	19,037,600	33,828,750	37,606,997	39,685,000	39,685,000

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 4-3-3

事務事業名	配水管整備事業	所属部門	水道課	水道工務係
町長公約				
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

<p>〔事業の概要・現状・課題〕</p> <p>【概要】 芽室町の水道事業は、住民生活に必要不可欠なライフラインとして、また、産業活動の基盤として、まちの発展に併せ施設整備を進め、市街地を含む上水道区域は、深井戸による自己水源と十勝中部広域水道企業団からの受水により安全で安心な水道水の安定供給に努めている。なお、これまでは平成28年に「芽室町上水道事業施設整備基本計画」を定め、上水道区域の自己水源更新や重要施設の耐震化、法定耐用年数を経過した管路の更新を計画的に進めるとともに、適切な維持管理により施設の機能保全を図っている。</p> <p>【現状・課題】 ①創業当時に埋設されていた、石綿セメント管の更新は2023年度に完了したが、耐用年数を経過した送配水管も増加傾向であるため、今後安定的な供給に支障がでることが予想される。 ②上下水道耐震化計画で整理した、上水道に関する急所施設の管路延長と重要な管路の延長が24.9km存在し、内未耐震管が22.2km存在することから、計画的な耐震化及び老朽化対策と財源の確保が課題となっている。</p>
--

<p>〔2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法〕</p> <p>①耐用年数を超過する水道管が増加することから、路線の重要度を見極め耐震管を使用した計画的な更新を行う。</p> <p>②能登半島地震で上下水道施設の甚大な被害が発生し、浄水場等の急所施設や避難所等を繋ぐ重要施設の管路耐震化対策として、R6年度から個別補助となった上水道基幹施設耐震化事業補助金の活用や防災・安全交付金の活用を検討し、R9からの工事着工に向けて長期的な財源を確保していく。また、今年度改定の水道事業施設整備基本計画において各管路の優先度の絞り込みや更新計画を策定し、耐震化と老朽化対策の効果的な促進に繋げていく。</p>
--

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円	33,400,000	44,400,000	42,800,000	43,800,000	43,800,000	
	その他(使用料等)	円			7,018,000	8,100,000	8,100,000	
	一般財源	円	29,000	1,272,000	89,000	24,000	24,000	
	事業費計	円	33,429,000	45,672,000	49,907,000	51,924,000	51,924,000	